令和5年度　陽南中学校

今年の陽南

○ 学力高い
○ 部活動等強い

文武両道の陽南

- 未来が楽しみ →希望
- 未来を生き抜く→
  生きる力(知徳体)

もっと学びたい、もっと体動かしたい、もっと成長したい、もっとできるようになりたい、そんな生徒の気持ちに立ち

心構え＝生徒主体の学校経営
無限の可能性を広げ伸ばす

学校の全体像

第4期岐阜市教育振興基本計画に基づいた「希望あふれる未来を自ら拓く力を付ける」学校経営構想

↓

基本方針

「学校の教育目標の具現に徹する

生きる力を付ける教育」

「わかる（知）やりきる（体）助けあう（徳）」

↓ ↑

働きたい学校、学びたい学校

応援したい学校

↓ ↑

共通指導基盤（安全安心）

「いのちの教育」

「安全性の保持」

↓ ↑

力を付ける教育重点施策と

その改善

岐阜市の教育の基本方針と目指す姿

学校・家庭・地域の誰もが生命の尊厳を理解し、互いに心を開く対話を重ね、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進する

【目指す教職員の姿】
教職員が高い専門性を発揮しつつ、チームとして子どもと向き合い続け、子ども、教職員もいきいきとチャレンジできる信頼感に支えられた温かい対話と空間のある学校をつくる

【目指す子どもの姿】
すべての子どもが安全・安心な環境の中で、他者との協働・信頼を通し、自己を認識し、自らの選択と行動によって幸せな未来をつくり出せる力を育む

【目指す家庭・地域の姿】
保護者や地域住民がコミュニティ・スクールなどの多様な地域資源を活かし、大人も子どもも学び・語り・支え合う、持続可能な教育のまちを創造する

第４期岐阜市教育振興基本計画「希望あふれる未来を自ら拓く力を育む教育」

学校の教育目標
（目指す生徒の姿）

【わかる】　課題に向かって、主体的に学習に取り組む生徒
【やりきる】粘り強く心身を鍛える生徒
【助けあう】思いやりをもって、仲間と協力できる生徒

合言葉

自他を大切にし、希望あふれる未来を自ら拓く力を身に付ける陽南中学校
「学校の教育目標の具現に徹する」（知徳体の調和のある力＝生きる力）

教職員の志

一人一人の生徒が、楽しく安心して充実感を味わう日々を過ごし、現在そして将来にわたり、夢と希望、自信と誇りをもって、自ら未来を切り拓き、生き抜くために必要な「確かな力（生きる力）」を身に付けるよう最善を尽くす

目指す姿

【教職員】
「働きたい」学校
・豊かな人間性と確かな専門性
指導技術等が身に付く学校
（働きやすい学校）

【生徒】
「学びたい」学校
・生徒一人一人のよさが輝き、未来への礎となる力が身に付く可能性を広げ伸ばす学校

【保護者・地域】
「応援したい」学校
・地域とともにある学校
（地域の教育力・多様な資源を活かし反映する学校）

基本方針

・師弟同行(感謝とお願い)
・風通しのよい職員室づくり
・豊かな人間性と専門性の追求
・生徒に寄り添うための働き方の工夫
・岐阜市教育振興基本計画に基づいた教育活動の改善

・安全安心な学校、居場所のある学校(「命」「自他を大切にする」
教育活動の工夫)
・楽しく学力が身に付く授業
・集団(よりよい人間関係)と個(多様な個性や能力の伸長)の調和の取れた教育活動の推進

・保護者・地域との密接な情報発信と収集
・学校運営協議会、保護者等との協働
・関係機関との協力体制
・地域行事やボランティア活動への参加充実

共通指導基盤

「いのち」の教育【生命の尊厳・よりよく生きる（立志）】を基盤に
・笑顔と感動の教育「明るくさわやかに伸ばす・自立と創造」
（寄り添う【共感的理解】 論す指導【心理的安全性の保持】）
※効果を高めるために　①基本的生活・学習習慣の育成　②知徳体をバランス良く育成　③自他を大切にする人間関係の育成

R5年度重点施策

・総合的な学習の時間リニューアル
・S4導入、行事変更及びSTAR等による学級経営の見直し・改善
・不登校・いじめ等生徒指導の未然防止等体制強化（※ここタン）
・ロイロノート等ICTを効果的に活用する教育体制の充実
・未来を自ら拓く力を付ける主題研究・学習指導の推進
・学校の教育目標の具現に徹するシンプルで分かりやすく力の付く教育活動の充実

・「命・生」につなぐ教育活動の取り出しと意図的指導の充実
・楽しく確かな学力が身に付く学び方の定着と学習習慣づくり
・将来への夢や期待感がもてるキャリア教育(立志教育)の充実
・未来の礎となる平和教育等、各種教育の充実
・ふるさと岐阜への愛着と誇り、願いをもつ「陽南MIRAI'S」の探究

・各種情報発信の充実（HP・メール・連絡帳等）
・部活動地域移行に向けて、保護者クラブ化への協働の推進
・学校運営協議会主催(協働)による教育活動の充実
・保護者・学校関係者による学校評価活動の充実・積極的な学校開放、地域行事への参加、協働
・小学校、高等学校及び関係機関との積極的な連携

評価還元PDCAの方法

・運営委員会、打合せ会の充実
・教育方針のぶれない各種提案
・方向性（期待感）を示すメッセージ
・感謝とお願いの通信「和顔愛語」他
・ＨＰ等の積極的公開
・各種アンケート等評価　等々

生徒主体の学校経営　　改善❶

すべての教育活動の目的は「わかる（知）、やりきる（体）、助けあう（徳）」の学校の教育目標の3つの力を付けることにシフト

- 全教育活動、全教職員が同じベクトルで生徒に生きる力を付ける効果的効率的な仕組みの工夫

筋の通った理想の学校（経営）担任第一声より

「生きる力」の育成（目標の具現）に徹する「チーム陽南」総力体制

学校の教育目標	課題に向かって、主体的に学習に取り組む生徒 粘り強く 心身を鍛える生徒 思いやりの心をもって、仲間と協力できる生徒	わかる	やりきる	助けあう

学級	担任の願い		わかる	やりきる	助けあう
いがやき	こっこっ	目標に向かって一生懸命取り組み最後までやり抜く 粘り強さ	目標を達成するためにはこつこつと努力する必要があると理解	上手くいかないことがあっても最後までこつこつ努力し続ける	さまざまなことをこつこつ努力しようとしている仲間を大切にする
ひびき	どんどん	こう 頑張るぞと目標をもって行動し続ける	どのように行動すれば自分の目標が達成できるかはっきりさせる	自分の立てた目標をできるまで粘り強く取り組む	自分や他の人の頑張りを知り、認め、喜ぶ
1年1組	溌剌	どんなことにも 挑戦し全力で向かう 生き方	溌剌という生き方がわかる	願いに向かって最後までやりきることができる	仲間の願いに全力で応え、共に活動したり支えたりする
1年2組	挑む	失敗を恐れず挑戦し、自分の可能性を引き出す生き方	「なりたい自分、挑戦したいこと」がわかる	願いに向かって、地道に努力しやりきる	挑戦する仲間の姿と気持ちを応援し、助けあう
1年3組	踏み出す	自分から動き、みんなで温かく 支え合う生き方	願いをもってどんなことにも前向きに挑戦する	達成できるまで、いろいろな方法を考えて粘り強く取り組み続ける	仲間の願いを大切にして、一緒にやり抜く
1年4組	根を張る	いかなる環境でも まずはやってみるという 生き方	何事もやってみることでなりたい自分がわかる	なりたい自分に向かって努力し続ける	仲間と手をつなぎ、ともに自分の居場所をつくる
1年5組	一所懸命	願いの実現に向けて何事も 全力で立ち向かう 生き方	一所懸命になれる場面を見つける	願いの実現に向けて一所懸命に挑戦し続ける	一所懸命の頑張る仲間を支える
1年6組	前進	前を向いて歩み続ける生き方	なりたい自分がわかる	挑戦しようとしたことをやりきる	みんなで挑戦する姿を助けあう
2年1組	終わりなき歩み	夢を叶えるために本質を見抜き挑み続ける	活動の本質を見抜き「なりたい自分」がわかる	「なりたい自分」を目指して様々なことに挑み続ける	本音で語り合い、求め合える心から感謝できる仲間になる
2年2組	磨き続ける	よりよさを追い求めて磨き続ける	活動することのよさを知り、磨き続けることの大切さに気付く	最後までよりよさを求めて取り組む	磨き続ける仲間を大切にする
		願いの実現に向かっ	活動の本質を見極め「よりよい自分	自分を信じて活動に臨み、最後は	互いのよさを認め合い、尊重、支え

生徒主体の学校経営　改善❷

S4制（ターム制）と行事の見直し

- S1 4,5,6月.　→やってみる【体育大会】縦割り団
- S2 7,8,9月.　→鍛え合う　【野外活動】山,海,世界
- S3 10,11,12月 →高め合う　【文化交流会】
- S4 1,2,3月.　→誇りをもつ【文化伝承の会】

個と集団の力を効果的に高める年間の教育課程の創造

教科学習と同じYKの「構造」＆生きる力と支える3要素

◆ 地理・環境軸（身近→世界）
◆ 時間軸　　（過去→未来）
◆ ヒト、モノ、事軸（自存→共存）
の発展性等

生きる力

国際社会
平和学習
（3年YK）

・知識・技能
・思考力・判断力・表現力
・学びに向かう力・人間性

確かな学力
豊かな人間性
健康・体力

自然【山】
地域社会研修
（1年YK）

自然【海】
漁村（キャリア）研修
（2年YK）

YKの「改善点・工夫点」→明快なねらいの設定

【全体目標の明確化】　生きる力（わかる、やりきる、助けあう）の育成、旅行・集団宿泊的行事の資質・能力の3観点、年間の教育課程、学年の発達段階や実態を踏まえ、全体で「付けたい力」（こんなYKにしたい）をダイナミックに創造する。（重点化、精選、拡大化、強調、軽重、偏重など）

【具体的活動の見直し・工夫とそのねらいの明確化】　上記の全体目標から、条件設定（時間、場所、もの等）かつ活動内容を検討する。（精選、廃止、新規生み出し、拡大など）

生徒主体の学校経営　　改善❸

ルールとリレーションの学級経営

- ルール＝規律、規範
- リレーション＝親和的な人間関係

規範を重んじながらも一律ではない多様性を認め合う温かさのある学級づくり　↓

満足型の学級づくりで学力アップと不登校対策を図る

令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度 11月現在
３０日以上の欠席者			
29	36	40	26

生徒主体の学校経営　　改善❹

日課の固定化と＋α時数の削減

- 日課の基本→A日課（B日課）
- 時数→標準時数を大きく超えた時間の削減

毎日異なる日課の廃止→生徒の安定と向上
時数の削減→部活動の生み出し、働き方改革

会議・時間外の縮減＝生徒のための時間確保

69時間12分→44時間59分

全職員の1年間の月時間外勤務時間の平均

終わりに

「学校の教育目標の生きる力を付ける学校づくり」を通して

○事故ゼロ・問題行動（いじめ等）減少
○欠席日数が減少
（全体に規律＝生活習慣確立、多様な個性＝居場所のある学校）
※不登校生徒　経年比較１．００（R4）→０．６５（R5）
○学力等アップ
※知育、徳育、体育の向上（未来を自ら拓く力の育成）
（1年＋35　2年＋60　3年＋70　等）

陽南中学校長　鬼頭立城